

年間目標	■自分自身に対して肯定的な感情をもち、安心して自己発揮し、園生活を楽しむ。 ■自分がやりたいことを見つけ、夢中になって遊び込む。 ■保育者や友だちに親しみをもち、他者と共に遊んだり、生活したりすることに喜びや楽しみを見出す。	■遊びや生活の中で、「もっとこうしたい」「これやりたい」という気持ちを育むとともに、問いや課題に向けて 創意工夫し、挑戦する。 ■身近な自然や文字や数に興味・関心を抱き、親しむ。 ■5歳児の姿に影響や刺激を受けながら、進級への期待を育む。
------	--	--

	I期（4～5月）	Ⅱ期（6～8月）	Ⅲ期（9～12月）	Ⅳ期（1～3月）
子どもの姿	・進級したことを喜び、様々なことに意欲的に取り組む姿が見られる一方で、新しい環境に戸惑う姿も見られる。 ・自分の好きな遊びを、一人でまたは、気の合う友だちと楽しむ姿が見られる。 ・身近な春の自然に興味・関心をもち、遊びに取り入れる姿が見られる。	・1日の流れに見通しを持ち、身の回りのことや自分のやりたい遊びに積極的に取り組む姿が見られる。 ・栽培する野菜や身近な生き物に興味・関心をもつ姿が見られる。 ・砂場やプールなどで、ダイナミックに水を使った遊びを楽しむ姿が見られる。	・経験したことを遊びの中に活かそうとする姿が見られる。 ・全身運動が活発になり、いろいろな運動をすることを喜んでいる。 ・友だちと共有した目標やイメージに向かって協力して取り組む姿が見られる。 ・季節の変化に応じて、それぞれの時期特有の気候や行事を、遊びの中に取り入れる姿が見られる。	・子ども同士で、思いや考えを出し合い、互いの表現やアイデアを認め合う姿が見られる。 ・この時期ならではの遊びや行事を楽しむ姿が見られる。 ・5歳児クラスになることに期待をもち、様々なことに意欲的に取り組んでいる。
ねらい●	●新しい環境に慣れ親しみ、自分の思いを発揮し、身の回りのことを意欲的に取り組む。 ●好きな遊びを見つけ、じっくり遊ぶことを楽しむ。 ●生活や遊びを通して保育者や友だちに親しみをもつ。 ●戸外で身近な自然にふれて気持ち良く過ごす。	●友だちがしていることに興味・関心をもち、一緒に遊ぶ楽しさやおもしろさを感じる。 ●夏の遊びや自然、行事を楽しみ、友だちと共有し、喜びを味わう。 ●飼育や栽培を通して身近な生き物にふれ、興味・関心をもつ。	●経験したことを友だちや保育者と再現し、共有しながら楽しむ。 ●いろいろな運動遊びを喜び、様々な体の動きを楽しむ。 ●自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりしながら、目標やイメージを共有して遊び、達成感を得る。 ●季節の移り変わりやそれぞれの時期特有の自然や気候に親しむ。	●一つのテーマを共有し、友だちと協力し、意見を出し合って遊ぶことを楽しむ。 ●日本の伝統文化に親しみをもち、楽しむ。 ●進級することへの喜びと期待をもつ。
内容◆	◆新たな生活リズムや環境に自らかかわり、身の回りのことを自分で行う。 ◆友だちや保育者と一緒に遊ぶことを楽しみ、その喜びを共有する。 ◆遊びの内容に応じて、道具や素材を自由に選び、活用する。 ◆戸外で身近な自然にふれ、心地よさを味わう。	◆自分で作ったものを遊びに取り入れたり、室内で作ったものを、戸外に持ち出したりして遊びに活かす。 ◆園生活の決まりに気付き、約束を守ろうとする。 ◆様々な水遊びを楽しみながら、水のおもしろさや感触を味わう。 ◆夏の自然（生き物、植物、天気など）に興味・関心をもち、自分たちなりに調べることを楽しむ。	◆経験したことを友だちに自分の言葉で説明し、友だちや保育者と共有して、再現する。 ◆友だちと協力して遊ぶことの楽しさを実感し、遊び込むことで達成感を得る。 ◆いろいろな遊具や用具を使ったり、ルールのある遊びに参加したりして戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ◆気温の変化やそれに伴う自然の変化に気づき、遊びに取り入れる。	◆5歳児の姿に刺激を受け、一緒に遊んだり、自分たちの遊びに取り入れたりする。 ◆正月あそびや冬ならではの事象を堪能する。 ◆遊びを通して、文字や数への興味・関心が高まる。 ◆一年間を振り返り、今の自分に自信をもち、進級に期待をもつ。
環境構成★	★保育室の棚に、写真やイラストを貼り、物の置き場所がわかりやすいようにする。 ★子どもの興味・関心をもとに、遊びのコーナーを、保育室や園庭に作る。 ★遊びに必要な素材や道具を準備し、どこに、どんなものが置いてあるのかわかりやすいようにする。 ★園庭の木々や草花などを見たり、触ったり、遊びに使ったりできるよう、身近な環境を整え興味や関心をもてるようにする。	★保育室内の環境構成を、子どもの興味・関心に応じて見直し、再構成する。 ★プール遊び、水あそびでは、いろいろな遊び方、参加の仕方が可能になるようにする。 ★栽培物や飼育している生き物の世話を、子どもたち自身がやりたい時にできるように、道具や図鑑などを用意し、コーナーを子どもと共に作る。	★子どもたちが話し合いの場を作れるように、道具や環境を整える。 ★寒さの中でも戸外で遊べるように簡単なルールのある集団遊びなど、体を動かして楽しさを味わえるような遊びを提示する。 ★発見した季節の変化などを自由に発表し合う場や調べることができるコーナーを作る。	★遊びや生活の中で、友だちとアイデアを出し合う機会をつくる。 ★子どもたちの興味・関心に合わせて、新たな素材や道具も加えながら、制作コーナーを充実させていく。 ★5歳児にモデルになってもらう機会をつくり、一緒に遊んだり、教えてもらったりする中で、文化が継承できるようにする。
保育者の配慮◎	◎安心して生活できるように、一人ひとりの子どもを温かく受け止め、信頼関係を築くようにする。 ◎一人ひとりの長所や好きなことをかかわりながら捉えていく。 ◎初めて使う道具や素材などは、集まり等の場で随時伝えていく。 ◎保育者も子どもと共に一緒に遊ぶことを楽しむ。	◎それぞれの子どもがどんなことに興味をもち、どんな発見や問いを生み出しているか温かい関心を寄せながら一緒に遊ぶ。 ◎水の安全な遊び方を知らせ、全身を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わえるようにする。 ◎育てている野菜の生長や飼育している生き物の成長を保育者も楽しみながら一緒に行う。	◎個々の経験が、新たな遊びの創出につながることを予想し、それぞれの経験を丁寧に聞き、思いを受け止めていく。 ◎子どもたちがやってみようとする姿を見守りながら、様子に応じて一緒に話し合いに参加したり、考えたりし、子どもたちのアイデアやイメージを形にできるようにしていく。 ◎個々の子どもたちが「自分はこうしたい」という気持ちを安心して表現できるように配慮する。	◎自分の考えや気持ちを表す姿に共感したり、認めたりしていくことで、自信がもてるようにする。 ◎年長児への思いや憧れを丁寧に受け止めていく。 ◎保育者自身が冬ならではの身近な事象を敏感に受け止め、子どもたちが興味をもてるように声をかける。 ◎この1年間を振り返り、楽しかったことやおもしろかったことを共有し、実際にやってみたりしながら、進級することに期待がもてるように援助する。
家庭や地域との連携	・入園、進級に伴う保護者の不安を受け止め、子ども達の姿を送迎時やドキュメンテーションなどで発信していく。 ・園外で出会った人との挨拶やコミュニケーションを大切に する。	・保育参観で子どもの育ちを伝えて、園の教育方針の理解が深まるようにする。 ・プール遊びや水遊びの際は、健康状態が把握できるように、見学の場合はお帳面への記入をお願いする。	・運動会、発表会などの行事では、園だよりやドキュメンテーションなどで、ねらいやそこへ向かっていく過程を伝え、主旨や子どもの姿を共有した上で当日を迎えるようにする。 ・年末年始の過ごし方など、親子でふれあいがより深まるような生活経験や遊びの情報を伝えていく。	・1年間の子どもの成長を共に喜び、様々な場面での保護者の協力に感謝する。 ・基本的な生活習慣や態度、友だち関係などの日常の様子を伝え、進級に向けた課題についての保護者の不安や思いを受け止め、今後の見通しをもてるようにする。
園生活の自立に向けての配慮点	・新しい環境の中で、周りの様子を気にして、思いや考えを表出することを抑えてしまう子どももいる。一人ひとりが自分を素直に表せるように、ありのままの姿を受け止め、丁寧に かかわっていく。	・湿度と気温の高い時期で汗をかきやすいので、水分の補給、着替えなど一人ひとりの様子を把握し、子どもが自分から取り組めるようにする。活動の流れ（つながり）を大切にし、時間や教材にゆとりをもっていく。	・子ども同士の模倣や認め合いを大切にし、表現する意欲や創造性が育まれるようにする。 ・自分もやってみようとする意欲や頑張る気持ちを支えていき、自分なりの表現方法や、やり遂げる満足感、達成する経験が味わえるようにする	・園生活を心地良く過ごす態度が身についていくようにする。子ども一人ひとりが自分の力を発揮し、友だちとかかわりながら生活していく喜びを味わえるようにする。